

責任投資報告書 2022



言行一致の取組みで 「安心・豊かな社会」を創造していく

当社は、「Trust(信頼・信託)」を通じ、「安心・豊かな社会」「お客さまとともにある未来」を創造できる信託銀行でありたい、という想いを込め、コーポレートメッセージとして、「安心・豊かな社会」を創り出す信託銀行”を掲げています。

私たち信託銀行は、お客さまから財産を託され、お客さまご自身や大切な方のために運用・管理しています。そうした仕組みを活用して、皆さまの暮らしをより「安心・豊かな」ものにするためにお役に立つことが、私たちの使命であると考えています。そして、この目指す姿を具体化する一つの形が責任投資だと考えています。

そして、この責任投資を受け入れる土壌として、私たち信託銀行には、創業以来、受託者としてお客さまや社会からの期待と信頼に応える「フィデューシャリー・デューティ」のDNAがあります。

私たちは、気候変動をはじめとする環境・社会問題などの重要性に早くから着目し、2006年5月に、国連主導で策定された「責任投資原則」に署名し、その後も責任投資の普及に取り組んでまいりました。そして、世界中でカーボンニュートラルへの関心が高まる中、当社の他、三菱UFJ国際投信、MU投資顧問、三菱UFJアセットマネジメント(UK)の三菱UFJフィナンシャル・グループのアセットマネジメント(MUFG AM)4社は、2021年11月にNet Zero Asset Managers initiative(NZAM)に加盟し、遅くとも2050年までに全受託運用資産ポートフォリオのGHG(温室効果ガス)排出量のネットゼロを宣言しました。私たちは、MUFG AMの4社で連携し、ネットゼロ達成に向けた取組みをはじめ、社会的要求の高まる責任投資領域での貢献を目指したいと考えています。

また私たちは、私たち自身の事業運営の方法の改革にも着手しています。私たち自身が創出する事業や活動の短期・長期の変化を含めた結果から生じる、社会的・環境的な変化、便益、学び、効果といった、社会的インパクトをしっかりと認識し、事業活動の改善などに活用する仕組みを導入し、社会的インパクト志向の事業運営としています。

この運営は未だ緒に就いたばかりですが、投資家として投資先企業にESGの取組みを求めてだけでなく、事業会社として自らの事業活動を環境・社会の観点から客観的に捉え、投資家、事業会社の双方の“言行一致”を追求していきたいと考えています。

私たちは、今後も責任投資を通じて、お客さま、投資先をはじめ、幅広いステークホルダーの皆さまとともに社会課題の解決に向けて取り組み、「安心・豊かな社会」を創造することに努めてまいります。

取締役社長
長島 巖





CORPORATE PROFILE

会社概要

名称	三菱UFJ信託銀行株式会社
英文名称	Mitsubishi UFJ Trust and Banking Corporation
所在地	東京都千代田区丸の内 1丁目4番5号
取締役社長	長島 巖
設立	1927年3月10日
セグメント情報	リテール部門 法人マーケット部門 資産金融事業 不動産事業 証券代行業業 受託財産部門 市場部門
資本金	3,242億円(2022年3月末)
連結総資産額	42兆8,300億円(2022年3月末)
信託財産額	439兆8,899億円(2022年3月末)
従業員数	6,190人(2022年3月末現在)

<https://www.tr.mufg.jp/>

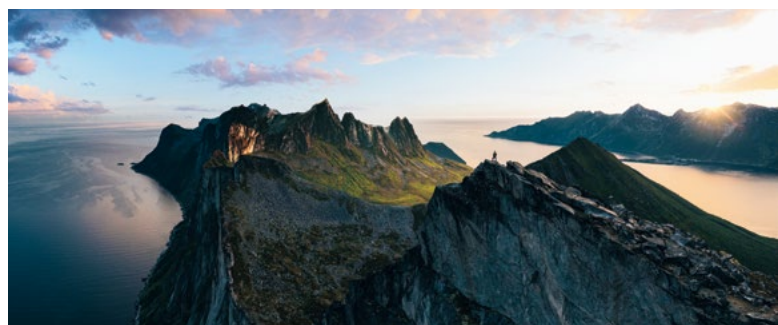
三菱UFJ信託銀行の「目指す姿」

「安心・豊かな社会」を創り出す 信託銀行

～社会・お客さまの課題を解決できる
プロフェッショナル集団～

CONTENTS

目次



2 社長メッセージ

WHY WE FOCUS ON RESPONSIBLE INVESTMENT

三菱UFJ信託銀行の考える責任投資

- 8 責任投資の潮流
- 10 責任投資の現状と課題
アセットマネジメント事業長インタビュー
- 16 三菱UFJ信託銀行の特色と強み
- 20 三菱UFJ信託銀行の目指す姿



HOW WE REALIZE OUR GOALS

目指す姿を実現するための三菱UFJ信託銀行のアクション

24 強化を続ける5つのアクション

- 1 「MUFG AM 責任投資ポリシー」の策定
- 2 「重大なESG課題」の特定と見直し
- 3 ガバナンス体制への組み込み
- 4 推進体制におけるPDCAの実践
- 5 First Sentier Investorsとの協働

38 「重大なESG課題」への貢献

気候変動
人権・ダイバーシティ
健康と安全
ガバナンス体制
情報開示

60 運用 ESGインテグレーション

78 運用 エンゲージメントと議決権行使 (スチュワードシップ活動)

108 調査・研究 ESG効果分析

112 基盤強化

役職員のリテラシーの向上
ESGイニシアティブへの対応
社会的インパクトKPIの導入

120 自己評価と今後の方針

123 関連用語集